

# 3・25大勝利は目前あと2日

## 日刊 勤労千葉

84. 3. 23

No. 1598

千葉市要町二一八 (動力車会館)

(鉄電)二九三五(六) (公衆)〇四七(二二)七二〇七

3・25総決起は、いよいよあと2日後に迫った。

「三里塚―国鉄を基軸に、反動中曾根と対決し、今こそ総反撃にうつて出よう!」ここで日本階級争の情勢を大きく転換させよ。攻防の火点―3・25三里塚に勤労千葉全組織人員の5割をもって総決起しよう! 国鉄労働者を先頭に数千人の労働者隊列を登場させ、中曾根と国鉄当局に目に物見せる怒りの実力宙結を叩きつけよう。この一撃こそが三里塚―国鉄決戦での総反撃―勝利への突破口だ!」

―3カ月前、われわれはこう決断し、この前代未聞の「5割動員」実現への歴史的挑戦に突入した。「5割動員」とは、勤務以外の全組合員が冠婚葬祭以外ほぼ全員参加だ。役員も組合員も真剣勝負で討論し悩み決断する大変な苦闘が積み上げられた。全員が、三里塚農民の身となり、「過員」攻撃と叩く全国の国鉄の仲間のかやしさを思い、「813スト」の誇りを思い起し、当局・本部革マルをにらみすえて、この3カ月を闘いぬいた。22日現在「五百数十名突破」六百名へはく進中だ。3カ月の苦闘の果て、勝利は目前だ。最後の奮闘を



佐倉の仲間たち(3月21日)職場集会をたたく

### 示せ! 力が鉄の団結 佐倉支部

佐倉支部では、三月二一日昼休み、役員、組合員五一名を結集し、本部から布施書記長、林特執をまねいて3・25総決起のための職場集会を開催しました。

佐倉支部では、3・25三里塚集会参加を確認した人が現在、四五名をこえ、かつてない決起がかちとられつつある中での集会でした。

集会は、田中書記長の司会で始まり、堀口支部長は、「全国的に59・2合理化で基地の統廃合がされ、ある地方では十一基地が三基地にされるといふ事態まで起こり、「過員」どころか仕事の奪い合いまで起こっています。また当局は、しめつけを強めています。こういうことを許さないために、3・25三里塚集会に参加し、団結の力を示そう」とあいさつしました。

本部の布施書記長より、情勢報告をうけ、「現在の国鉄労働運動に対する攻撃をうち破るために中曾根内閣をうち倒そう!」そのために3・25に総決起しよう!との提起がされました。

最後に、堀口支部長の団結ガンバローをもって終了。現在、支部は最後のいこみに入っています。3・25全力で決起しよう! (支部通信員・発)

### 「不可能」を「可能」へ! 勝浦支部

勝浦支部は、三月十九日、本部布施書記長をかえ、約六〇名が参加して職場集会を開催しました。集会は、鶴岡(芳)書記長の司会ではじめられ、冒頭、鶴岡(直)支部長より、「本集会は、われわれをとりまく情勢と将来展望をふまえた中で、3・25三里塚五割動員の意義・重要性を全員が真に理解し、積極的に参加されることを目的として開催しました。支部は、二月二七日執行委員会を開催し、3・25三里塚五割動員の重要性を確認し、分科・青年部役員を含め全員が年休をとって参加することを決定し、また、三月十六日拡大執行委員会で意志統一を図り、組合員へのオルグ強化をはかっています。今日、政府・国鉄当局は職場規律に名をかりた処分攻撃をもって組織破壊を一段と強めております。このような情勢において勤労千葉が今までの常識では不可能に近い『五割動員』という戦術をぶちあげたことの重大さを認識し、なんとしても勝利しよう!」と3・25集会の総力決起を訴えるあいさつが行われました。

つづいて、本部布施書記長より、情勢と方針が提起され、活発な質疑が行われました。

集会は、3・25の意義と勝浦支部の総力を上げた決起を全体で確認し、成功裡に終了しました。3・25を共に闘おう。(支部通信員・発)